

# インマヌエル中目黒キリスト教会 聖日礼拝・2008. 1. 13.

メッセージ  
「キリストの賜物を見直そう」

エペソ人への手紙4章1-16節

竿代照夫牧師



聖書朗読

新約聖書

エペソ人への手紙4章1-16節

- 1 さて、主の囚人である私は  
あなたがたに勧めます。  
召されたあなたがたは、その  
召しにふさわしく歩みなさい。
- 2 謙遜と柔和の限りを尽くし、  
寛容を示し、愛をもって互いに  
忍び合い、
- 3 平和のきずなで結ばれて  
御霊の一致を熱心に保ちなさい。

4 からだは一つ、御霊は一つです。  
あなたがたが召されたとき、  
召しのもたらした望みが一つで  
あったのと同じです。

5 主は一つ、信仰は一つ、  
バプテスマは一つです。

6 すべてのもののの上 にあり、  
すべてのものを貫き、  
すべてのもののうちにおられる、  
すべてのものの父なる神は一つ  
です。

7 しかし、私たちはひとりひとり、  
キリストの賜物の量りに従って  
恵みを与えられました。

8 そこで、こう言われています。

「高い所に上られたとき、彼は多くの捕虜を引き連れ、人々に賜物を分け与えられた。」

9 ——この「上られた。」

ということばは、

彼がまず地の低い所に下られた、  
ということではなくて何でしょう。

10 この下られた方自身が、  
すべてのものを満たすために、  
もろもろの天よりも高く  
上られた方なのです。——

11 こうして、キリストご自身が、  
ある人を使徒、ある人を預言者、  
ある人を伝道者、ある人を牧師  
また教師として、お立てに  
なったのです。

12 それは、聖徒たちを整えて  
奉仕の働きをさせ、キリストの  
からだを建て上げるためであり、

13 ついに、私たちがみな、  
信仰の一致と神の御子に関する  
知識の一致とに達し、  
完全におとなになって、  
キリストの満ち満ちた身だけに  
まで達するためです。



14 それは、私たちがもはや、  
子どもではなくて、  
人の悪巧みや、人を欺く悪賢い  
策略により、教えの風に  
吹き回されたり、  
波にもてあそばされたりすること  
がなく、

15 むしろ、愛をもって真理を語り、  
あらゆる点において成長し、  
かしらなるキリストに達する  
ことができるためなのです。

16 キリストによって、  
からだ全体は、一つ一つの部分  
がその力量にふさわしく働く力  
により、また、備えられた  
あらゆる結び目によって、  
しっかりと組み合わされ、  
結び合わされ、成長して、  
愛のうちに建てられるのです。

説教

教会総会に備えて

「キリストの賜物を見直そう」

エペソ人への手紙4章1-16節

竿代照夫牧師

テキスト：

「私たちはひとりひとり、  
キリストの賜物の量りに従って  
恵みを与えられました。」

(エペソ4:7)

A. 「賜物」は「恵み」として  
与えられる

1. 「賜物」、「恵み」「喜ぶ」  
は親戚の言葉

# 「喜ぶ」 (カ10ー)

→ 「恵み」  
(カ1ス=喜んで与える態度、恩顧)

→ 「賜物」  
(カ1マ=与えられるもの、  
与えられた能力、  
1コリント4:7参照)

2. 賜物は、キリストの犠牲に  
基づく（7節）

3. 賜物はみなに異なる形で  
与えられる

4. 賜物の活用について、  
報告義務がある  
（マタイ25のタラントの話）



B. 賜物は、教会の建て上げの  
ために用いられる

1. 賜物が誤用されると  
教会の一致が損なわれる  
(コリント教会、ピリピ教会)

## 2. 賜物はキリストの体を 建て上げるためのもの

- 互いに仕えることによって  
現わされる(1ペテロ4:10)
- 適材適所で用いられることを  
期待しよう
- 互いの連携が鍵 (16節)

## 終わりに

1. 教会の共同体意識を高めよう
2. 自分に与えられている賜物を再認識し、感謝し、十分に活用しよう
3. 他の人の賜物を評価し、その活用を願おう